

第6学年社会科学学習指導案

日 時 平成16年9月10日(金) 2校時

児 童 男6名 女4名 計10名

指導者 林 崎 史 宏

- 1 単元名 三 新しい日本の国づくりを見つめよう
1 新しい時代の幕あけ

2 単元について

第6学年の社会科学の能力に関する目標は、「社会的事象を具体的に調査し、地図、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」ことである。内容としては「(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにするとあり、ここでは、「力 黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかること」について学習する。本単元ではまず、文明開化という具体的で親しみやすい面から導入し、児童にとってより身近な視点でスムーズに学習に取り組むことができるようにする。近代日本の歴史は、世界の歴史の動きと密接不可分で、この時代は日清・日露戦争に象徴されるようにのちの時代に続く「戦争の時代」の端緒となり、また、近代国家の体制が整い、国際社会での地位が向上していった時代である。こうした時代の中で、国民の生活はどうなっていったのか、人々はどのような意識を持ち、何を求めたかについて学んでいくことができる単元である。

児童は全体的に読書を好む傾向にある。しかし、個人によって選ぶジャンルに偏りが見られ、読書量にも差がある。しかし、学級での「読書紹介コーナー」や「千ページ運動」などの活動を通して、他のジャンルに興味をもつたり、誘い合って図書室に通ったりする子も増えてきている。小単元「大陸に学んだ国づくり」で、想像図から予測したり、疑問をもったことを調べたりする活動を行ってきた。その中で、「聖武天皇の大仏づくりは人々によい影響を与えたか」という討論ゲームを取り入れ、話し合うことで、当時の歴史的背景を詳しく調べたり、大仏づくりに関わった人々の思いに触れたりすることができた。このことから、歴史に浅く迫るだけでなく、ひとつの事象を様々な角度から見られるようになってきていることが感じられる。さらに、「武士の登場から天下統一へ」という小単元では、文永・弘安の役で大活躍をしたといわれる「竹崎季長」という人物に焦点を当てた読書材から彼の行動や気持ちを読み取り、意見を交流し、考えを深め合うことで、鎌倉幕府の衰退の理由を歴史上のキーマンの行動などから考え、その歴史的背景に迫ることができるようになってきている。

指導にあたっては、導入時にアンパンに代表される「明治時代の食文化」に焦点をあて、「食」から見た明治時代に興味を持たせ、暮らしの大きな変化を感じさせながら学習を進めていきたい。小単元の流れとしては、続いて食以外の文化を調べていくことで「衣」「住」「交通」「文化」「社会制度」などの変化へも興味を広げていく。そして「なぜこのように文化が大きく変化していったのか」という疑問をもたせたうえで、明治政府の政策に視点を与えて調べさせていきたい。本時としては「明治政府の行った改革に賛成か・反対か」という議題を設定し、賛成派と反対派に分かれて討論を展開していく。その活動を通して、「政府」「士族」「平民」などの様々な立場の人々の思いに迫っていく。その際は知識に裏打ちされない感情ばかりの言い合いや知識ばかりの討論にならないように、自分の立場をはっきりさせた調べ学習を徹底させたうえで、別な立場やあらゆる角度での調べ学習も行うことができるように配慮し、深まりのある討論となるようにしていきたい。そのためにも、論点が明確になるように「廃藩置県」「四民平等」「地租改正」「徴兵制」「廃刀令」などの政策に着目させて調べさせ、討論の際に深化読書として調べた内容(読書材)をもとに発言させるようにしていきたい。

3 単元の目標

日本が欧米の文化を取り入れ近代化を進めるとともに、二つの戦争を経験しながら国力が充実していく様子に関心を持ち、その向上に関わった人物について進んで追究しようとする

(関心・意欲・態度)

新政府の政策のねらいや二つの戦争によって起こったできごとに対する人々の思いや願いを考えることができる。

(社会的思考・判断)

新政府の政策、新しい文化や学問、二つの戦争について各種資料を活用して調べたり、調べた結果や考えたことを歴史新聞などに表したりすることができる。(観察・資料活用の技能・表現)

新政府の諸政策、国家開設への動き、二つの戦争の様子、条約改正への動き、社会の発展と問題、科学の発展などについて理解することができる。(知識・理解)

4 指導計画(14時間扱い)

(1) 新しい時代の幕あけ(9時間)

段階	学習活動		時間	評価規準			
				関心意欲態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
見通しをもつ	導入読書	明治になって変わった人々の暮らし 明治のはじめの頃の食文化を調べ、それをもとに課題を設定する。	1	明治のはじめの頃の食文化を進んで調べ、それをもとに課題を設定しようとしている。		食文化の読書材から、江戸時代との違い・変化について読み取ることができる。	
		五箇条の御誓文と人々の不満 食以外の文化や政治面について調べ、明治政府の政治方針について予想を立てる。	1	食以外の文化や政治面について、進んで調べたり、政治方針について予想を立てたりしようとしている。	既習事項をもとに、明治政府の政治方針について考えることができる。		
調べる	深化読書	明治政府の政治方針についてグループで分担して調べ、交流する。	2	政府の方針について協力して調べ、積極的に交流しようとしている。			新政府の進めた諸改革の目的・内容や特色についてのあらましを理解することができる
		人々にとっては？ 「明治の改革は当時の人々にとってよいことだったか」を論題に討論ゲームをすることを予告し、学習の流れ等を理解する。	1	これからの学習の流れや役割分担、留意事項などについて進んで理解をしたり、参加しようとしていたりしている。	改革についての既習事項から、賛成・反対の意見を考えることができる。		
	深化読書	討論ゲームに向けての論述準備 賛成派と反対派に分かれ、当時の様子を調べたり、相手を論破する内容をまとめたりしていく。	3	賛成派と反対派に分かれ、進んで当時の様子を調べたり、相手を論破する内容をまとめたりしようとしている。	読書材から、自分のチームのために有効な資料を調べたり、まとめたりすることができる。	調べたことを、よりわかりやすく、説得力のある方法(絵図・グラフ等)で書いたり、まとめたりすることができる。	
まとめる	深化読書	討論ゲームをしよう グループごとに調べたことをもとに、討論を展開し、明治時代の改革とその影響について理解を深める。	1 本時	グループごとに調べたことをもとに、進んで討論を展開し、明治時代の改革とその影響について理解を深めようとしている。	改革に携わった人々や様々な立場の人々の思いを考えながら、討論することができる。	新政府の進めた諸改革の目的・内容や特色について、工夫して表したり、発表したりすることができる。	新政府の進めた諸改革の目的・内容や特色について理解を深めることができる

(2) 二つの戦争と日本・アジア(5時間)

5 本時の指導

(1) ねらい

明治政府の一連の改革を通して、改革に携わった人々や様々な身分の人々の思いを考え、理解を深めることができる。

(2) 本時授業の仮説

社会科で次のような読書活動を行うならば、豊かに考える子どもが育つだろう。

仮説1 多面的に考える力をつけるために、深化読書として様々な角度から収集した読書材を活用すること

仮説2 その時代の様々な立場の人々の気持ちについて考えることができるような読書材を選定すること

仮説3 自分の立場をはっきりさせたうえで、ディベート的な話し合い活動を行うこと

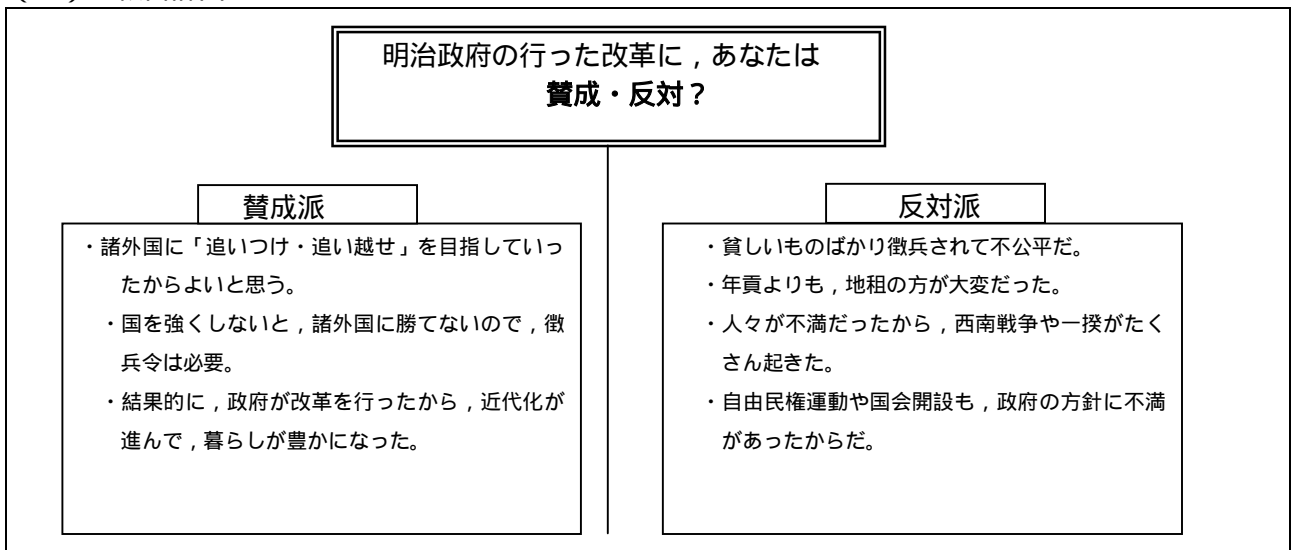
(3) 展開

段階	学習内容	支援と評価	準備
導入	1 前時の学習内容を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 明治政府の行った改革に、あなたは 賛成・反対？ </div>		
展開 35	3 学習の流れを確認する。 4 討論する。 <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国に「追いつけ・追い越せ」を目指していったからよいと思う。 ・国を強くしないと、諸外国に勝てないので、徴兵令は必要。 ・貧しいものばかり徴兵されて不公平だ。 ・年貢よりも、地租の方が大変だった。 ・人々が不満だったから、西南戦争や一揆がたくさん起きた。 ・自由民権運動や国会開設も、政府の方針に不満があったからだ。 ・結果的に、政府が改革を行ったから、近代化が進んで、暮らしが豊かになった。 5 討論のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> まとめ例 どの身分の人々も、いろいろな苦勞をしたり、考えたりしていたと思う。しかし、この改革のおかげで今の人々の暮らしが豊かになったと思う。 </div>	各チーム、根拠となる読書材を明確にし、作戦シートを使って発言することを押さえさせる。 論点が明確になるように、「廃藩置県」「四民平等」「地租改正」「徴兵制」「廃刀令」などに焦点を当てて討論をさせる。 論点の焦点化・発表の工夫・紳士的行為・チームの協力などを、基準をもとに点数化し、勝敗を決めることを確認させる。 勝敗だけが目的ではなく、討論することで話し合いが深まり、様々な考え方を知ることができたことを確認させる。	作戦シート 前時までの学習をまとめた紙板書
終末 7	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の予告をする。	今日までの学習を振り返っての感想を書かせ数名に発表させる これと同時に国際状況が大きく変わっていくことを伝え、そのことを学習していくことを予告する。	振り返りカード

(4) 評価

評価場面	具体的評価規準	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
調べたことや友だちの意見から、当時の人々がどのような思いをもつて生きていたか考え、理解を深める場面（発言・つぶやき・感想）	思判 調べたことや友だちの意見から、当時の人々がどのような思いをもつて生きていたか考え理解を深めることができたか。	改革に携わった人々や様々な立場の人々の思いを考えながら、複数の根拠を元に自分の考えを発表することができる。	改革に携わった人々や様々な立場の人々の思いを考えながら、根拠を元に自分の考えを発表することができる。	紙板書や作戦シートを手がかりに、当時の人々がどのような思いをもつて生きていたか気付かせる。

(5) 板書計画



6 利用する読書材

- 人物と文化遺産で語る日本の歴史 『近代日本を開いた人々』 (みずうみ書房)
- 日本の歴史 『明治のあけぼの』 (ポプラ社)
- 『わくわく近代日本史 50 話』 (草土文化)
- コミック版『NHK その時歴史が動いた 明治黎明編』 (集英社)
- 暮らしの歴史図鑑 8 『国際関係の歴史』 (ポプラ社)
- 時代別日本の歴史 9・10 『明治時代(上・下)』 (学研)
- くらべてみよう 100 年前と 『日本の社会』 (岩崎書店)
- 地図でみる日本の歴史 『明治・大正時代』 (フレーベル館)
- 人物・資料でよくわかる日本の歴史 『明治・大正時代』 (岩崎書店)
- 人物日本の歴史 『日本を変えた 53 人』 (学習研究社)
- 日本史の大疑問 『文明開化で変わったことは?』 (ポプラ社)
- 学習漫画 日本の歴史 『近代日本の夜明け・明治時代』 『西洋に学ぶ・明治時代』 『富国強兵のゆくえ・明治時代』 (集英社)
- 学習漫画 日本の歴史年表 (集英社)
- 学習漫画 日本の歴史人物辞典 (集英社)
- 学習漫画 日本の歴史できごと事典 (集英社)

社会科討論ゲーム作戦シート

名前 ()

1 あなたの立場

2 初めの討論の中心となること (チームで話し合って決めたこと)

本の題名・ページ・資料名など

3 自由討論の内容 (自分のチームに有利になる内容)

本の題名・ページ・資料名など

4 予想される相手の主張

5 それに対する自分の反論

本の題名・ページ・資料名など

討論ゲームを終えて...自分は () 派です。理由は、
